

第三回研究会報告

第三回在京研究会は七月三日、本郷学士会館で開かれた。報告者は似田貝香門会員で、報告は「村落社会研究の現段階における問題」の題目で行われた。報告及び討論の要旨を以下に御紹介します。今回の研究会は村落研究における理論的基礎範疇をめぐって行われ、共通課題の展開に示唆するところ大であったと思われます。なお、報告及び討論はテープをもととしていますがかなり要約的となっており、議論の性格上、発言の趣旨が不十分な要約され発言者に御迷惑をおかけしている点が多くないかと思われますが、この点御了承をお願いするとともに、文責は事務局にあることをおことわり致しておきます。なお、敬称は事務場で略しました。

出席者は次の会員諸氏でした。川本、益田、吉沢、河村、戸沢、大淵、上野、白井、渡辺、小池、柿崎、山本（英）、安原。

